



こどもミュージアム 2020

ミギシ家のマリオネット

～ジャイアントステップスの夏まつり～

「こどもミュージアム」は、夏休み期間に子どもたちに美術館に親しんでもらうことを目的に、毎年テーマや講師をかえて実施している教育普及プログラムです。

2020 年度は巨大傀儡（くぐつ）パフォーマンス集団 GIANT STEPS（ジャイアントステップス）を総合演出に迎え、『ミギシ家のマリオネット』と題して開催します。

はじめに

愛知県一宮市出身の三岸節子（1905-1999）と、北海道札幌市出身の三岸好太郎（1903-1934）。

2 人は 1922 年に東京で出会い、1924 年に結婚。1929 年には東京都中野区鷺宮にアトリエ付住居を構え、3 人の子どもたちと暮らしました。

貧しい暮らしではありましたが、ロマンチストの好太郎は、新聞紙と小麦粉を煮詰めて人形の顔を作り、庭に舞台をしつらえ、自作自演の操り人形（マリオネット）劇で子どもたちを楽しませました。人形の衣装は節子がありあわせの布を裁縫し作りました。2 人にとって異国情緒あふれるマリオネットは画題の対象でもあり、当時 2 人とも《マリオネット》と題した作品を発表しています。

しかしながら一番下の子（のちに画家となる長男黄太郎）が 4 歳になった 1934 年、好太郎は胃潰瘍による吐血と心臓発作のため 31 歳の若さで急逝し、帰らぬ人となりました。以後、三岸家で人形劇が見られることはありませんでした。

こどもミュージアム 2020『ミギシ家のマリオネット』は、このような三岸家の史実から着想を得ています。洋画史に輝かしくその名を残す 2 人の天才画家が出会ってから、まもなく 100 年。好太郎と節子が築いたささやかな家族の絆や団らん、そして命の尊さや物を大切する気持ちを、『ミギシ家のマリオネット』を通じてご家族で楽しみながら見つめ直していただくきっかけになれば幸いです。



1932 年 節子・好太郎と 3 人の子どもたち



左) 三岸好太郎《マリオネット》1930 年
北海道立三岸好太郎美術館蔵
右) 三岸節子《マリオネット》1930 年
所在不明

開催概要

- 【事業名】 こどもミュージアム 2020
ミギシ家のマリオネット ～ジャイアントステップスの夏まつり～
- 【開催期間】 2020 年 7 月 18 日(土)～8 月 30 日(日) 45 日間 (開館 38 日間)
- 【開館時間】 午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
- 【休館日】 毎週月曜日 (8 月 10 日(月祝)は開館)、8 月 11 日(火)
- 【会場】 一宮市三岸節子記念美術館 1 階
(エントランスロビー、常設展示室、土蔵展示室、講義室)
- 【対象】 中学生以下
- 【参加費】 無料
※常設展示室内に高校生以上が入場する場合、観覧料が必要
※ワークショップは参加費が必要

【総合演出】 **GIANT STEPS (ジャイアントステップス)**

摩訶不思議な巨大傀儡(操り人形)集団。背中に背負って操作する骸骨や化け鳥、8 人がかりで息を合わせて動かす青龍など、大きな人形が中心だが、骨の精霊など中型の人形や、河童、鬼、骨などの小さな人形も操る。

人形はすべて手作りで、「こんな仲間がいるといいなあ」という思いで作っている。材料には使われなくなったペットボトルや発泡スチロールなど廃材を利用。

「ナンジャコレ!」と観る人の心をざわめかすことを旗印に、音楽イベント、人形劇、フェス、お祭りに、全国津々浦々で活動中。2019 年は「あいちトリエンナーレ 2019 豊田会場オープニングイベント」はじめ全国各地で計 36 回公演。



【同時開催】 ●三岸節子コレクション展「線と形」

三岸節子のスケッチから苦悩の末に生み出されてくる作品。花は花そのものを見て、自身が揺さぶられる感情、感動を造形と色彩により表現します。節子の作品の形や線に込められた思いを紹介します。

会 期：6 月 27 日(土)～8 月 30 日(日)

観覧料：一般 320 円 高大生 210 円 中学生以下無料

●いちのみやミュージアムズ

一宮市内の博物館施設(一宮市博物館・三岸節子記念美術館・尾西歴史民俗資料館の 3 館)が連携し、スタンプラリーやケーブルテレビ・YouTube を活用した常設展示ガイドツアー動画の配信を実施します。

●3 館 de スタンプラリー 7 月 18 日(土)～8 月 30 日(日)

●おうち de ガイドツアー 8 月 1 日(土)～8 月 31 日(月)

あらすじ

ミギシ家のマリオネット

いま ねんまえ け
今から 100 年前のミギシ家

こうたろう ふるしんぶん まる かお
おとうさんの好太郎が古新聞を丸めて顔をつくり

せつこ ぬの き ぬ ふく
おかあさんの節子が布切れを縫って服をつくると

マ リ オ ネ ッ ト
かわいいあやつり人形ができあがりました

にん こ にんぎょうげき おおよろこ
3人の子どもたちは人形劇に大喜び



ところがまもなくして

こうたろう びょうき し
好太郎が病気で死んでしまいました

あるじ うしな
主を失ったマリオネットは

くら なか ふか ねむ
蔵の中で深い眠りにつきました



それから 100 年

こえ め さ
にぎやかな声でマリオネットは目を覚まします

くら びじゅつかん う
蔵はいつのまにか美術館に生まれかわり

ひと あそ き
たくさんの人たちが遊びに来ていたのです



当館の蔵（土蔵展示室）について

当館は三岸節子の生家跡に、節子が亡くなる前年の 1998 年、93 歳のときに開館しました。

土蔵展示室は、節子がここで暮らしていた頃から残る蔵を活用し、アトリエの再現や愛着の品々を展示しています。



イベント一覧

●クイズ&スタンプラリー「マリオネットと友だちになろう！」

館内にちりばめられたクイズを解いてスタンプを集めよう。クリアできた子にはオリジナルグッズをプレゼント！（先着 300 名、中学生以下のみ）

日 時：期間中毎日

●アートツール「ペーパークラフトのマリオネットをつくろう！」

陽気なマリオネットに、カラフルな模様を描いて踊らせてみよう。紙の操り人形はどんな動きをするかしら。（先着 300 名、大人も可）

日 時：期間中毎日

●ワークショップ「尾州のテキスタイルを使ってマリオネットをつくろう！」

尾州の布や糸、発砲スチロールなどを使って、自分だけのマリオネットをつくろう。つくったあとはみんなで動かしてみるよ。

日 時：8 月 10 日(月祝) ①午前 10 時～12 時、②午後 2 時～4 時

8 月 22 日(土) ③午前 10 時～12 時、④午後 2 時～4 時

講 師：ギリヤッコ・A (GIANT STEPS)

定 員：各回 10 名（抽選） 参加費：1,000 円（材料費）

対 象：年少～中学 3 年生（小学 3 年生以下は保護者同伴）



●三岸節子記念美術館×尾西金蝶堂コラボ和菓子

くずまんじゅう「くぐつまんじゅう」

マリオネットをモチーフにした葛饅頭「くぐつまんじゅう」を喫茶コーナーにて限定販売。

協 力：御菓子司 尾西金蝶堂

（一宮市小信中島字郷北 13-3 TEL: 0586-62-4327）

* 詳細は SNS 等でお知らせします。



●ライブパフォーマンス

会期中、GIANT STEPS が神出鬼没で美術館に現れます。

* 日時等の詳細は SNS 等でお知らせします。

●傀儡（くぐつ）展示

会期中、GIANT STEPS の大小さまざまな傀儡や設計図、パフォーマンス写真などを展示します。



【担 当】 〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1

一宮市三岸節子記念美術館 課長補佐（学芸員） 長岡昌夫

TEL 0586-63-2892 FAX 0586-63-2893

E-mail migishi@city.ichinomiya.lg.jp WEB <http://s-migishi.com>

* 高解像度の画像を提供いたします。担当までお問い合わせください。

* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予告なく中止・変更となる場合があります。